



# 地元の誇り 丹生高旋風巻き起こる！

## 男子ホッケー部 5年ぶり4度目の優勝

7月27日から31日までの5日間、宮崎県で令和元年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技が開かれました。大会では、丹生高校男子が出場校28校の頂点を目指し、熱戦を繰り広げました。丹生は準決勝まで、1点を争う接戦をものにして勝ち上がりました。

迎えた決勝の相手は、天理高校（奈良県）で、丹生は第1クォーターから果敢に攻め上がりました。試合が動いたのは第2クォーター開始直後、左サイドからのパスを吉田有我選手が押し込み、先制点をあげました。しかし、第3クォーターにPS（ペナルティストローク）で2点を失い、1点が遠い丹生は、試合終了間際に月田駿丞選手のシュートが決まり、2対2の同点に追いつきました。SO（シュートアウト）戦も互いに譲らず、白熱した試合でしたが、最後は石田彪馬選手が相手キーパーの股下を抜くシュートを決め、5年ぶりに4度目の優勝に輝きました。



大会結果

2回戦	丹生 2 - 1 沼宮内（岩手県）
3回戦	丹生 3 - 2 石動（富山県）
準決勝	丹生 1 - 0 岐阜総合学園（岐阜県）
決勝	丹生 2 - 2 天理（奈良県） (SO 3 - 2)



### 高松雄飛 主将からのメッセージ Message from the captain

自分たちにとっては、初めての決勝の舞台。「楽しんでいこう」とみんなで声を掛け合いました。チーム全員の最後の最後まであきらめないという気持ちが、優勝という最高の結果に繋がったのだと思います。たくさんの応援ありがとうございました。国体も優勝目指してがんばります。



# 野球部 強豪校を破り、初の準優勝

ノーヒットからの快進撃!!

7月13日から25日、福井県営球場と敦賀市総合運動公園野球場で、第101回全国高等学校野球選手権福井大会が開かれました。大会屈指の左腕、玉村昇悟投手を擁する丹生高校は、初戦、2回戦と順当に勝ち上がり、3回戦では、春の選抜出場の新高校を相手に延長10回、来田達磨選手のサヨナラ打で逆転勝ちを収めました。

勢いに乗る丹生高校は、準決勝に強豪校の福井工大福井高校に勝利し、夏の大会初の決勝にコマを進めました。迎えた決勝では、選抜優勝経験のある敦賀気比高校を相手に、得点圏にランナーを進めるも相手投手の好投で無得点に抑えられ、0対3で試合終了。

夢の甲子園にあと一步が届きませんでした。初めての決勝を戦った選手たちに惜しめない拍手が送られました。



大会結果

1回戦	丹生 6 - 2 武生商業高校
2回戦	丹生 7 - 0 藤島高校（8回コールド）
3回戦	丹生 5 - 4 啓新高校
準決勝	丹生 3 - 0 福井工大福井高校
決勝	丹生 0 - 3 敦賀気比高校

玉村投手は、大会通算52奪三振の新記録を樹立



問合せ先

スポーツ振興課  
34-8730



### 玉村昇悟 主将からのメッセージ Message from the captain

試合中、ピンチになっても、部員全員で笑顔を心がけてきました。メンバーのほとんどが小学校時代からの戦友であり、信頼のおける仲間たちです。チーム全員が仲良く、明るく練習や試合に臨んでいきました。本当に楽しかった。最高の夏でした。応援してくださったみなさん、本当にありがとうございました。